

# 岐阜県立岐阜高等学校 校歌

作詞 松平 静  
作曲 伊藤栄治

せん じんのたけ きん かざん ひゃくりのみず な が ら がわ  
(が) かいのなみ あ ら く と も き ぼ う の き し と お く と も

か よ う の けんじ こ こ に う ま れ て こ っ か の た め に あ け く れ ま な ぶ が  
か よ う の けんじ こ こ ろ お お し く ひ ゃ く せ つ ふ と う

つ と め て や ま ず ふ る へ ふ る へ ほ こ る さ い こ の

れ き し あ る わ が こ う こ う の ほ ま れ を ば あ げ よ も

ろ び と も ろ と も 一 に

千仞の嶽	金華山	学海の波	荒くとも	国家の為に	明け暮れ学ぶ	華陽の健児	ここに生まれて	百里の水	長良川	希望の岸	遠くとも	奮へ 奮へ	誇る最古の	歴史ある	我が高校の	誉れをば	挙げよ諸人	諸共に	百折不撓	つとめてやまず	華陽の健児	心雄々しく
------	-----	------	------	-------	--------	-------	---------	------	-----	------	------	-------	-------	------	-------	------	-------	-----	------	---------	-------	-------

# 岐高女校歌

一 ああすめらみ國 榮ゆるみ代に  
われら起女 生れあひたる章  
胸の鏡と 日々にあふく  
教への道の 勅語

二 見よ稲葉山の 姿は高し  
われら起女 高く心を保たむ  
國の御為に 人の為に  
力のかさり つくさはや

三 きけ長良川の 瀨の音は清し  
われら起女 清く心とみかかむ  
はけみいそしみ 探かたく  
明るき微笑 うつくしく

## 姫小松

一 学びの庭の 姫小松  
千代の標に たぐ(つ)  
植ゑしその日のめぐりきぬ  
いやや祝わん 諸共に

二 恵みのつゆに うらおいし  
みとりゆかしき 姫小松  
いよよますますしげ(つ)  
千代に八千代にせかえなん

藍水くらぶ

高木 あい筆

### 姫小松(創立記念日の歌)

### 岐高女 校歌

まなび-の にわの ひめこまつ ちよのみ さをに  
めぐみ-の つゆに うるほひて みどりゆかしき

あ あ す め ら み く に さ か ゆ る み よ に わ  
み よ い な ば や ま の す が た は た か し わ  
き け な が ら が わ の せ の と は き よ し わ

たぐへつ つ う-あし そのひの めぐり-きぬ  
ひめこまつ い-よよますますしげる-べし

れ ら を と め う ま れ あ ひ た る さ い は い む ね の  
れ ら を と め た か く こ こ ろ を た も た む く に の  
れ ら を と め き よ く こ こ ろ を み が か む は げ み

いさや-い わはん もろとも に  
ちよに-や ちよに さかえなん

か が み と ひ び に あ-い-ぐおしえ の み ち の み こ と の リ  
み た め に ひ と の た-め-にちから の か ざ り つ く さ ば や  
い そ し み み さ お か-た-くあか る き え ま ひ う つ く し く

# もくじ

1	岐阜県立岐阜高等学校 校歌	14	令和七年度決算書
2	岐高女校歌 姫小松(創立記念日の歌)	15	令和八年度予算書
	<b>挨拶・祝辞</b>	16	応援団団歌 凱旋歌
4	令和八年度の通常総会開催にあたり 岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 村瀬幸雄	18	<b>特集1 進化する岐阜高等学校</b> — 岐高部活動の現在地 —
5	「同窓会総会」をお祝いして 岐阜県立岐阜高等学校 校長 小野 悟	30	<b>特集2 3世代岐高生家族インタビュー</b>
6	岐高生！伝統の継承、そして飛躍 令和八年度同窓会総会運営委員会 委員長 山田 誠	36	<b>特集3 二〇二五年</b> 大阪・関西万博に関わった岐高生たち
	<b>総会資料</b>	42	<b>卒業アルバムより</b>
7	総会・懇親会 次第	48	<b>恩師からの便り</b>
	<b>議事</b>	54	<b>同窓生の寄稿</b>
8	● 第一号議案 令和七年度事業報告	61	令和八年度入試 大学合格者数
	● 第二号議案 令和八年度事業計画(案)	62	総会運営委員会名簿
9	● 第二号議案 令和七年度決算報告ならびに監査報告	63	<b>会報協賛広告</b>
10	● 第四号議案 令和八年度予算(案)	168	総会出席者名簿
11	● 第五号議案 規約(案)	171	広告ご協賛の御礼 編集後記
13	● 第六号議案 役員(案)		

## 令和8年度の通常総会開催にあたり



岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 村瀬 幸雄

令和八年度の同窓会総会にあたり、ご挨拶申し上げます。

本年度も多くの同窓生の皆様にご出席をいただき、このように盛大に開催できますことを心より感謝申し上げます。また、平素より本会の運営につきましても、多大なるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度も同窓生皆様の多方面での活躍とともに、在校生の皆さんも世界で通用するリーダー養成を目指し、探究的な学びに力を入れておられます。特に昨年十二月には、全国の高校を代表して、総理官邸を訪問し「未来の日本を創造する!! 持続可能なデジタル政策!」をテーマに、農業分野の政策を直接高市総理に届けました。同窓生のみならず在校生の皆さんの活躍に大変嬉しく思いました。

一方で、少子化の加速、高校無償化の進展、さらには理系人材育成の社会的要請など、高等学校を取り巻く環境は大きく変

化しております。同窓会としても、本校が百折不撓、自彊不息の校訓のもと、岐阜県のみならず日本を牽引するリーダーを輩出していく高校として引き続き支援していきたいと考えます。

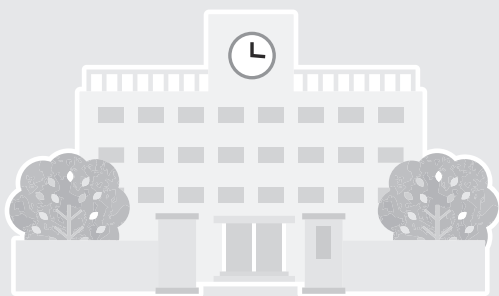
また、岐阜高校一五〇年の歴史を、周年誌という形ではなく、岐中・岐高女・岐高の出来事を短編の話にまとめた「古往今来」という一冊の書籍として皆様にお届けしましたので、是非ご覧ください。

本年度総会は、世代を超えて皆様一堂に会する貴重な機会であり、旧交を温め昔を懐かしむだけではなく、新たな交流や発見、感動の場になれば幸いです。

最後に、今年度の総会運営を担当していただきました、幹事学年の昭和五八年、平成五年、平成一五年に卒業の皆様におかれましては、本会の開催に向け、総会から懇親会、会報の企画から運営まで多方面に亘り、ご尽

力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

本日お集まりの皆様方のご健康とご多幸と、岐阜高校のますますの発展を祈念し、開催にあたっての言葉とさせていただきます。



## 「同窓会総会」をお祝いして



岐阜県立岐阜高等学校 校長 小野 悟

令和八年度の岐阜高校同窓会総会が、村瀬幸雄会長様をはじめ役員・運営委員の皆様方のご尽力により開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご存知のように、本校の生徒は「百折不撓・自彊不息」の校訓のもと、輝かしい歴史伝統を受け継ぎながら、文武両道をモットーに日々学習や部活動にと励んでおります。今春の進路結果は別頁にてお知らせさせていただいておりますとおりですが、部活動においても、運動系・文化系とも限られた時間を有効活用して、各種大会やコンクールで様々な賞を受賞するなど県内外で活躍しています。

その一端を紹介させていただきますと、まず運動系においては、卓球部が女子シングルスにおいて県大会でベスト4に進出し、インターハイへの出場を果たしたほか、テニス部も、男子

シングルス、男子ダブルスにおいて全国大会へ出場を果たしました。他にも、陸上競技部、水泳部、バドミントン部、剣道部、テニス部が東海大会に出場しました。文化系部活動においても、書道部が前日本高等学校書道コンクールで準大賞、音楽部が東京国際合唱コンクールで金賞、吹奏楽部が中部日本個人・重奏コンテスト本大会で個人の部金賞をそれぞれ受賞したほか、書道部、音楽部、文芸部、自然科学部、写真部、囲碁・将棋部、クイズ研究部が全国大会に出場するなどの活躍を見せてくれました。

さらに、最近の特徴として、部活動以外でも、全国レベルの大会やコンクールに多くの生徒が果敢に挑戦してくれていることがあります。その一例が、二年度次生四名(現三年次生)が第三回全国高校生政策甲子園において設定テーマ部門で最優秀賞を受賞し、高市首相、農水大臣、デジタル大臣等に直接政策提言

をする機会を得ました。特筆すべきはこうした挑戦をしている生徒は、部活動で活躍しながら、更にこうした大会に挑戦してくれているということです。素晴らしい成果に結びついた取組だけでなく、残念ながらそこには至らなかった取組においても、その取組を通じて大きな学びをみせてきています。

このように、岐阜高校生は皆様の期待に応えるべく様々な分野で大活躍をしています。今後とも、本校の教育活動に絶大なご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年度の総会を運営されます山田誠運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和五八年、平成五年、一五年卒業の皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、会員の皆様方のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を心から祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 岐高生！伝統の継承、そして飛躍



令和8年度同窓会総会運営委員会 委員長 山田 誠

ご来賓、恩師の諸先生、そして全国各地から集いし同窓生の皆様、令和八年度岐阜高校同窓会総会・懇親会にご参加いただき、誠にありがとうございます。また、広告協賛を賜りました関係各位ならびに協賛金をお寄せいただいた皆様には、本会の運営に格別のご支援をいただきましたことを、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

今年度の同窓会テーマは「岐高生！伝統の継承、そして飛躍」です。近年の母校は学業のみならず、部活動がいつそう活発化し、各分野で輝かしい成績を収めています。また、部活動以外でも、多くの岐高生が自らの可能性を信じて全国的な舞台で活躍しています。本会では、そんな「今を飛躍する岐高生」の姿を皆様に紹介したく、会報誌の特集と懇親会アトラクションを連動させた企画をご用意しました。特集一「進化する岐阜高等学校―岐高部活動の現在地―」と、アトラクション「アオハル★最前線」を通じ、現役生の躍

動するエネルギーを肌で感じていただければ幸いです。

一方で、岐阜高校には一五〇年を超える歴史と伝統が、過去から現在へ脈々と受け継がれています。特集二では「三世代岐高生家族インタビュー」と題し、三世代にわたり母校で学んだ三組のご家族に、時代による変化と、変わらぬ「岐高精神」について語っていただきました。また、特集三「二〇二五年大阪・関西万博に関わった岐高生たち」では、昨年度の一大イベントにおいて、文化や技術を未来へつなぐ架け橋となった卒業生たちの歩みを紹介します。万博という飛躍の場で活躍する同窓生の姿は、私たちにとても大きな誇りです。

さらに、例年は幹事学年が担当する会報誌の表紙デザインですが、今年は新たな試みとして現役美術部の優秀作品四点を掲載させていただきました。また、題字は昭和五八年卒の同窓生が筆を執り、現役生と卒業生の共演によって「伝統の継承」を形に

いたしました。ぜひ改めてご鑑賞いただければと思います。

本年度は、私たち昭和五八年卒、そして平成五年卒、平成一五年卒の三学年が幹事を務めております。一〇年前に先輩方とともに幹事を務めた経験があるとはいえ、当初はこの大役に対する不安もありました。そこで私たちは共通の目的（パーパス）として、「参加して良かったと思える会を創ること」、そして、「幹事学年の同窓生に一〇年に一度の旧交を温める機会を提供すること」を掲げ、一致団結して準備を進めてまいりました。各分野の第一線で活躍する同窓生の「個の力」と、互いを尊重し高め合う「団結力」を目の当たりにし、改めて岐阜高校卒業生としての誇りを強く感じた次第です。

本日の集いが、懐かしい旧友との絆を深め、今後の変わらぬ友情を育む貴重な機会となりますことを祈念申し上げます。どうぞ、心ゆくまで楽しいひと時をお過ごしください。

# 令和8年度岐阜県立岐阜高等学校同窓会 総会・懇親会 次第

令和8年6月7日(日) 会場：岐阜グランドホテル

## 1. 総会(11:00~11:35)

開会の辞

黙祷

同窓会会長挨拶 会長 村瀬 幸雄

学校長挨拶 校長 小野 悟

議案審議

第1号議案 令和7年度事業報告

第2号議案 令和7年度決算報告ならびに監査報告

第3号議案 令和8年度事業計画(案)

第4号議案 令和8年度予算(案)

第5号議案 規約(案)

第6号議案 役員(案)

退任役員への感謝状贈呈

閉会の辞

## 2. 懇親会(11:50~14:00)

開会の言葉 令和8年度同窓会総会運営委員会 委員長 山田 誠

恩師紹介

アトラクション「岐高生の今 アオハル★最前線」

乾杯 在京(首都圏)岐阜高校同窓会 会長 尾関 良平

歓談

令和9年度同窓会総会運営委員会 委員長紹介 足立 葉子(昭和59年卒)

校歌斉唱

閉会の言葉 令和8年度同窓会総会運営委員会 副委員長 石原 幸喜

以上

# 議 事

## <第1号議案>

### 令和7年度事業報告

第1回役員会	4月22日	岐阜高校
同窓会総会	6月1日	岐阜グランドホテル
グローバルスタディーズプログラム研修助成	8月18日～22日	岐阜高校
岐高祭(体育大会)運営助成	9月1日	岐阜メモリアルセンターで愛ドーム
第2回役員会	9月9日	岐阜高校
基調講演会	11月12日	岐阜高校
		講師：冨成 義郎 氏(昭和49年卒) 東邦ガス株式会社 相談役
第3回役員会	2月3日	岐阜高校

#### << 参考 >>

令和7年度 在京(首都圏)同窓会総会 6月29日 東京ドームホテル

## <第3号議案>

### 令和8年度事業計画(案)

第1回役員会	4月20日	岐阜高校
『古往今来 岐中・岐高女・岐高の歴史』発行	5月1日	
同窓会総会	6月7日	岐阜グランドホテル
グローバルスタディーズプログラム研修助成	8月17日～21日	岐阜高校
岐高祭(体育大会)運営助成	8月31日	岐阜メモリアルセンターで愛ドーム
第2回役員会	9月8日	岐阜高校
第3回役員会	2月2日	岐阜高校
創立記念講演会(旧「基調講演会」)	(期日は未定)	

講師：古川 周賢 氏(昭和61年卒)

乾徳山恵林寺住職・哲学者

※その他【母校支援特別会計】「母校支援活動費」による課外活動支援(必要時に実施します)

#### << 参考 >>

令和8年度 在京(首都圏)同窓会総会 6月28日 東京ドームホテル

## 第2号議案 令和7年度岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 令和7年 4月 1日  
至 令和8年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	4,328,434	4,328,434	
同窓会入会費	1,065,000	1,065,000	@ 3,000 × 355名 = 1,065,000
特別会計から繰入金	600,000	600,000	
受取利息	300	6,786	普通預金利息
雑収入	0	0	
計	5,993,734	6,000,220	

支出の部

役員会費	50,000	18,738	役員会（お茶代等）
慶弔費	50,000	0	
祝儀、饗別	200,000	50,000	在京同窓会等
総会運営費	300,000	300,000	令和7年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	94,260	在京同窓会出席者旅費等
通信費	20,000	2,520	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	100,000	71,500	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	200,000	143,000	管理料、登録・修正更新作業費
校史資料室整備費	100,000	65,965	資料整備用品等
卒業記念品	550,000	0	500円/個 × 1100個（令和8年卒業生含め3年分）※次年度へ
同窓会事務局運営費	600,000	496,522	事務局人件費、光熱費等、事務局スマホ代
その他	0	68,200	国旗新調
雑費	20,000	2,530	振込手数料ほか
次年度繰越金	3,703,734	4,686,985	
計	5,993,734	6,000,220	

【特別会計】

収入の部

科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	7,955,327	7,955,327	
十六FG株式配当金	1,100,000	1,379,012	株式保有数8,142株
受取利息	500	14,924	普通預金利息
計	9,055,827	9,349,263	

支出の部

一般会計繰出金	600,000	600,000	同窓会事務局運営費として
次年度繰越金	8,455,827	8,749,263	
計	9,055,827	9,349,263	

【総会特別会計】

収入の部

科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	12,113,536	12,113,536	
総会運営費繰入金	1,200,000	1,200,000	
総会余剰金	0	2,539,266	令和7年8月受け入れ
受取利息	500	23,712	普通預金利息
計	13,314,036	15,876,514	

支出の部

令和8年度総会運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	
振込手数料	550	660	
次年度繰越金	12,113,486	14,675,854	
計	13,314,036	15,876,514	

【グローバルリーダー養成事業特別会計】

収入の部

科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	13,386,132	13,386,132	
受取利息	500	22,445	普通預金利息
計	13,386,632	13,408,577	

支出の部

グローバルリーダープログラム参加者助成	1,000,000	780,000	39名分助成 @¥20,000/人
振込手数料	0	880	
次年度繰越金	12,386,632	12,627,697	
計	13,386,632	13,408,577	

【母校支援特別会計】

収入の部

科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	12,628,847	12,628,847	
受取利息	500	22,012	普通預金利息
計	12,629,347	12,650,859	

支出の部

母校支援活動費	400,000	424,986	岐阜祭、基調講演会謝礼
次年度繰越金	12,229,347	12,225,873	
計	12,629,347	12,650,859	

上記の通りご報告申し上げます。  
令和8年3月31日

令和7年度岐阜高等学校同窓会  
会 計 早川 徹  
会 計 國井 重宏

上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。  
令和8年3月31日

令和7年度岐阜高等学校同窓会  
監 査 馬場 美穂  
監 査 後藤 栄一郎  
監 査 三浦 陽平



## 第4号議案 令和8年度岐阜高等学校同窓会 予算(案)

自 令和8年4月1日  
至 令和9年3月31日

【一般会計】  
収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	4,686,985	
同窓会入会費	1,077,000	3,000円/人 × 359人
特別会計から繰入金	900,000	
受取利息	6,000	普通預金利息
雑収入	0	
計	6,669,985	

支出の部

役員会費	50,000	3回
慶弔費	50,000	
祝儀・餞別	200,000	在京(首都圏)岐阜高校同窓会等
総会運営費	300,000	令和7年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	在京(首都圏)岐阜高校同窓会出席者旅費等
通信費	20,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	100,000	管理料、ドメイン利用料、メンテナンス料等
同窓会名簿関連諸費	200,000	管理料、登録・修正更新作業費
校史資料室整備費	100,000	資料整備用品等
卒業記念品	550,000	令和8年卒業含め3年分(令和11年3月までに購入)
同窓会事務局運営費	900,000	事務局人件費、光熱費等、事務局スマホ代
雑費	20,000	振込手数料ほか
次年度繰越金	4,079,985	
計	6,669,985	

※ 一般会計での科目間流用を認める

【特別会計】  
収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	8,741,046	
十六FG株式配当金	1,600,000	株式保有数40,710株
受取利息	14,000	普通預金利息
計	10,355,046	

支出の部

一般会計繰出金	900,000	同窓会事務局運営費として
古往今来刊行費	3,500,000	
次年度繰越金	5,955,046	
計	10,355,046	

【総会特別会計】

収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	14,661,979	
令和7年度総会運営費繰入金	1,200,000	
受取利息	23,000	普通預金利息
計	15,884,979	

支出の部

令和8年度総会運営費繰出金	1,200,000	
振込手数料	1,100	
次年度繰越金	14,683,879	
計	15,884,979	

【グローバルリーダー養成事業特別会計】

収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	12,615,930	
受取利息	22,000	
計	12,637,930	

支出の部

グローバルリーダーズプログラム参加者助成	1,000,000	20,000円/人 × 50人
振込手数料	1,100	
次年度繰越金	11,636,830	
計	12,637,930	

【母校支援特別会計】

収入の部

科目	予算	備考
前年度繰越金	12,214,116	
受取利息	22,000	
計	12,236,116	

支出の部

母校支援活動費	800,000	岐阜祭、基調講演会謝礼及び旅費、課外活動補助
次年度繰越金	11,436,116	
計	12,236,116	

## 第5号議案 岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約(案)

第1条 (名称) 本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。

第2条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。

第3条 (組織) 本会は次の会員を以て組織する。

○正会員

岐阜県岐阜中学校卒業生

岐阜県岐阜高等女学校卒業生

岐阜県岐阜第一中学校卒業生

岐阜県岐阜第一高等学校卒業生

岐阜県岐阜女子高等学校卒業生

岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生

岐阜県立岐阜高等学校卒業生

その他役員会の議を経て、会長の承認した者

○特別会員

現職員・旧職員

第4条 (役員) 本会は次の役員をおく。

○名誉顧問・顧問 若干名 役員会に於て推挙する。

○名誉会長 1名 母校校長

○会長 1名 総会に於て選出する。

○副会長 若干名 総会に於て選出する。

○監査 若干名 総会に於て選出する。

第5条 (役員の仕事) 役員の仕事は次の通りとする。

○会長は会務を総括し、総会・役員会を招集し、その議長となる。

○副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。

○会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。

○監査は会計を監査する。顧問は会長の諮問にこたえる。

第6条 (役員の仕事) 役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。

第7条 (総会) 本会の目的を達成するため、毎年1回定期総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。

2 総会の決議は、議決権を行使することができる会員の総会出席者の議決権の過半数をもって行う。

第8条（入会金）正会員は入会金を納入する。

第9条（経費）本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。

第10条（会計）会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。

第11条（支部）本会には支部を設けることができる。

第12条（同窓会事務局所在場所）岐阜市大縄場3の1、岐阜県立岐阜高等学校内に置く。

（令和8年6月7日 一部改定）

新旧対照表

新	旧
<p>第7条（総会）本会の目的を達成するため、毎年1回定期総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。</p> <p><u>2 総会の決議は、議決権を行使することができる会員の総会出席者の議決権の過半数をもって行う。</u></p>	<p>第7条（総会）本会の目的を達成するため、毎年1回定期総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。</p>

**<第6号議案>**  
**岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員(案)**

<b>顧問</b>	杉山 幹夫 (昭和20年卒)	野々垣 孝 (昭和31年卒)
	森川 幸江 (昭和40年卒)	水谷 邦照 (昭和41年卒)
	木方伸一郎 (昭和46年卒)	遠藤 宏治 (昭和49年卒)
	*村瀬 幸雄 (昭和50年卒)	
<b>名誉会長</b>	小野 悟 岐阜高校 校長	
<b>会長</b>	*神谷眞弓子 (昭和51年卒)	
<b>副会長</b>	松波 英寿 (昭和50年卒)	杉山 文康 (昭和54年卒)
	伊在井みどり (昭和54年卒)	佐伯 淑子 (昭和55年卒)
	早川 徹 (昭和61年卒)	國井 重宏 (昭和61年卒)
	伊藤 知子 (平成5年卒)	瀬川 典秀 (平成8年卒)
	四ツ橋憲彦 (平成13年卒)	
<b>会計</b>	早川 徹 (昭和61年卒)	國井 重宏 (昭和61年卒)
<b>監査</b>	馬場 美穂 (平成元年卒)	後藤栄一郎 (平成5年卒)
	三浦 陽平 (平成8年卒)	
<b>事務局</b>	園部 利彦 (昭和50年卒)	

\*の方は新任の候補者です。その他の方は再任候補者です。

# 令和7年度岐阜県立高等学校同窓会総会運営委員会 決算書

自 令和6年9月1日 至 令和7年8月31日

1. 収入の部 (単位：円)

科目名	予算	決算	備考
本 会 預 り 金	1,200,000	1,200,000	特別会計より総会運営費
本 会 受 入 金 収 入	300,000	300,000	一般会計より総会運営費
会 費 収 入	6,040,000	5,880,000	10,000円×584名 事務局職員5,000円×8名
広 告 料 ・ 協 賛 金 収 入	6,000,000	7,345,000	広告・協賛214件
受 取 利 息	1,000	6,213	普通預金利息
雑 収 入	0	81,119	祝儀70,000円 会費振替10,000円
収 入 の 部 合 計	13,541,000	14,812,332	

2. 支出の部 (単位：円)

科目名	予算	決算	備考
総 会 費 ( 総 会 費 )	6,500,000	6,410,890	岐阜グランドホテル6,298,910円 プロジェクタ手配104,500円
総会費(イベント経費)	150,000	275,000	ビデオ映像275,000円
印 刷 費	2,900,000	2,716,450	コンビニ払込票227,700円 広告協賛依頼状236,500円 会報誌2,222,000円
通 信 費	880,000	906,484	コンビニ払込票発送517,220円 会報誌郵送316,800円
会 議 費	50,000	116,918	運営委員会議費(会場費・飲料代・資料コピー代等)
事 務 費	110,000	107,323	名札・テーブル配置図73,480円 胸章16,072円
支 払 手 数 料	300,000	176,901	コンビニ収納/データ突合173,711円 銀行振込手数料3,190円
雑 費	100,000	63,100	HP更新料 手土産代 校旗等クリーニング代
反 省 会 費	300,000	300,000	幹事反省会
本 会 預 り 金 返 金	1,200,000	1,200,000	本会へ返金
予 備 費	1,051,000	0	予備費の使用なし
余 剰 金	0	2,539,266	本会へ送金
支 出 の 部 合 計	13,541,000	14,812,332	

上記のとおりご報告申し上げます。

令和7年9月9日

運営委員長 山田 秀夫



財務部会長 戸部 久史



上記について監査した結果、適正に処理されていることをご報告いたします。

令和7年8月31日

監 査 加藤 厚志



監 査 後藤 篤志



## 令和8年度岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算書

### 1. 収入の部

(単位：円)

科目名	金額	備 考
本 会 預 り 金	1,200,000	特別会計より運営資金として預り
本 会 受 入 金 収 入	300,000	一般会計より総会費として
会 費 収 入	6,040,000	10,000円×600名他
広 告 料 ・ 協 賛 金 収 入	6,000,000	
受 取 利 息	10,000	
雑 収 入	0	
収 入 の 部 合 計	13,550,000	

### 2. 支出の部

(単位：円)

科目名	金額	備 考
総 会 費 ( 総 会 費 )	6,700,000	ホテル飲食 会場設営費
総会費 ( イベント経費 )	300,000	アトラクション
印 刷 費	2,900,000	会報、案内状、封筒、払込票他
通 信 費	1,000,000	総会案内状、広告依頼書発送費等
会 議 費	50,000	各種打合せ会議等
事 務 費	110,000	用紙代、事務費等
支 払 手 数 料	300,000	コンビニ収納手数料、振込手数料
雑 費	100,000	ホームページ更新料 等
反 省 会 費	300,000	反省会 次期引継費用
本 会 預 り 金 返 金	1,200,000	特別会計へ運営費預り金の返還
予 備 費	590,000	
余 剰 金	0	
支 出 の 部 合 計	13,550,000	

※科目間の流用を認めるものとする。

応援团团歌

- 一、金華城頭月冴えて  
蓋世の英雄信長の  
万象すべて沈黙なり  
雄図の跡に苔むしぬ
- 二、嗚呼熱血児信長の  
ありし昔を偲びては  
覇業は夢と消え果てど  
健児無量の想ひあり
- 三、熱血受けし一千の  
桜の香り身に沁みて  
心一つの健児等が  
根城構へて百三十余年
- 四、悲壯の風の吹き荒び  
校の徽章の桜花  
混濁の波逆巻けど  
身もて護る健児団
- 五、如何なる敵の迫るとも  
破邪の剣をぬき立てば  
寄せ来る仇は多くとも  
竜車に向う螻蛄ぞ
- 六、敵に鬼神の勇あるも  
我には紅き血潮あり  
仇に天魔の計あるも  
からくれなるを見ずや君
- 七、さはあれ心せ同胞の  
桜の花の散るあらば  
香りは永き百三十余年  
散るその下に死なん哉
- 八、誘ふ嵐に散らされず  
朝日に匂ふ桜花  
尽くせし心の現はれて  
その花の下に我れ立たん

凱旋歌

- 一、泰山厲と消ゆるとも  
誓つて桑梓に見えじと  
我が身に功なかりせば  
出でし華陽の健男児
- 二、されど見よ見よ今はこれ  
姿を変えて悠々と  
我が大丈夫は帰り来ぬ  
身に大功の光そへ



テーマ

## 岐高生！ 伝統の継承、そして飛躍

私たちが岐阜高校で過ごした日々は、時代ごとに形こそ違えど、今も変わらぬ価値を持つ原点です。学びの場としての学校生活、仲間との出会い、先生方の教えは、卒業後も岐高生としての誇りを育み続けています。こうした日々の積み重ねこそが、岐阜高校の伝統だと感じています。

近年は日々の学びに加え、部活動がいつそう活発化し、各分野で輝かしい成果を収めています。岐高の精神と伝統は、現在の生徒たちへ確かに受け継がれ、さらに新たな挑戦へとつながっています。

**特集1** 「進化する岐阜高等学校―岐高部活動の現在地―」では、現在の部活動の姿や成果に加え、卒業生の当時の思い出等を紹介しながら、伝統がどのように受け継がれ、そしてどのように飛躍しているのかをお伝えします。

**特集2** 「3世代岐高生家族インタビュー」では、3世代にわたり岐阜高校で学んだご家族に、それぞれの高校生活についてアンケートにご協力いただきました。校舎が変わり、時代が変わる中で、どのような日々を過ごしてこられたのか、共通点と変化点を比較しながらご覧ください。

**特集3** 「2025年大阪・関西万博に関わった岐高生たち」では、1970年の大阪万博、2005年の愛・地球博に続く日本で3回目の万博として開催された大阪・関西万博に関わった岐阜高校の卒業生を紹介します。その時代を象徴し、文化や技術を受け継ぎ、未来へと飛躍する場である万博において、高校時代の学びをどのように活かし、万博から何を得られたのでしょうか。来場者として参加した同窓生の一言感想や会場写真も含め、2025年の一大イベントに関わった岐高生の歩みを紹介します。

卒業生は今もなお、岐阜高校で培った経験を礎に、それぞれの分野で力を発揮しながら、新たな飛躍を続けています。本会報誌が岐高生の想いをつなぎ、母校への誇りと、世代を超えて結ばれる絆を改めて感じていただける機会となれば幸いです。

特集  
記事

**特集1**… 進化する岐阜高等学校 - 岐高部活動の現在地 -

**特集2**… 3世代岐高生家族インタビュー

**特集3**… 2025年大阪・関西万博に関わった岐高生たち

特集1

進化する岐阜高等学校

— 岐阜高部活動の現在地 —

部活動紹介(運動系)

●硬式野球部



す。岐阜高校らしく「高いレベルでの文武両道」を目指しています。

また、令和6年11月には、イチロー氏(マリナーズ会長付特別補佐兼インストラクター)が本校を訪れ、2日間 にわたり指導いただきました。OBからの手紙がきっかけで実現したこの指導は、選手たちに大きな刺激と学びの機会となりました。

その他、年に1回程度、小学6年生を招いた「百折不撓・文武両道プロジェクト」を実施し、学習・野球指導を通じて、次世代の育成を図っています。

甲子園には過去春3回、夏3回の計6回出場しています。遠ざかっている甲子園出場を目指し、日々練習に励んでいます。

(令和7年度の主な成績)

- ・春季県大会
  - 一回戦 岐阜11-1関有知
  - 二回戦 岐阜3-5美濃加茂
- ・夏季県大会
  - 一回戦 岐阜6-1本巣松陽
  - 二回戦 岐阜2-9高山西
- ・秋季県大会
  - 一回戦 岐阜6-0岐阜農林
  - 二回戦 岐阜2-3東濃実業

明治17年に創部され、日本国内の最古の硬式野球部として、伝統を継承し、勝利の歴史を次世代へと紡いでいま

スボGOM-甲子園 全国大会出場

(3年連続)

現役生の声 主将3年次生小幡孟

岐阜高校硬式野球部は、「高いレベルでの文武両道」を大切にし、日々本気で野球に向き合っています。限られた時間と17人という部員数の中でのようにしたら成長できるのか考えながら活動しています。

また野球の技術だけでなく人間としての成長も大切にし、将来社会に貢献できる人間になれるよう、挨拶や礼儀、周囲への気配りを意識しています。

さらに岐阜高校硬式野球部は保護者の皆様や卒業生の方々、地域の方々に日頃からたくさんの方々の支援や応援の言葉をいただき、恵まれた環境で活動することができています。その感謝を示せるよう、そして岐阜高校の名に恥じない戦いができるよう全力で挑み続けます。

卒業生の声 昭和58年卒 森川賢一

高校時代は仲間とともに甲子園を目指して白球を追い、監督として母校に赴任したときには生徒とともに夢に向かい、その後岐阜県高野連会長として母校の活躍を楽しみに見守ってきました。



●陸上競技部



陸上競技部は、短距離・長距離・跳躍・投擲などの各種目に分かれ、部活動を通して仲間と切磋琢磨しながら、日々練習に励んでいます。

「全部員が自己最高記録の更新を目指すとともに、人間力を高めること」をチーム目標に掲げ、競技力の向上はもちろんのこと、努力を継続する姿勢や仲間を尊重する心を大切に、人としての成長を目標に活動しています。

（令和7年度の主な成績）

- ・東海高等学校総合体育大会出場  
男子800m・1500m、  
東海陸上競技選手権大会出場  
男子800m、  
東海高等学校新人陸上競技選手権大会出場  
男子800m・1500m、  
3000mSC  
女子800m・3000m、  
女子走幅跳、女子三段跳、  
女子400mH、  
・JOCジュニアオリンピックカップ  
U18陸上競技全国大会  
男子800m

卒業生の声 昭和58年卒 今井巧

インターハイ出場を目標に練習の日々。東海大会で0.2秒差の7着となり、鹿兒島は叶いませんでしたが、部の仲間、双子の弟（写真、県岐商）と競い合った高校時代でした。



●水泳部

「水泳を通じた人間力の向上」を目標とし、学業と水泳のハイレベルな両立を実践しています。学校敷地内にあるプールが取り壊しになってからは、長良川スイミングプラザやホテルスポーツパルクを拠点とし、週3〜4回の水中練習と週1回のウエイトトレーニングを行っています。



**現役生の声 部長 3年次生 説田瞬**  
陸上競技部では「全員自己最高記録更新・人間力を高める」という目標に向かって日々の練習に取り組んでいます。少ない練習時間の中でも効率よく練習し、チーム一丸となって競技力向上に努めています。陸上競技は個人競技が中心ではありますが、リレーや駅伝などの団体競技もあり、いつもはライバルとして切磋琢磨しているチームメイトと、そういった機会には協力して一つでも上の順位を目指してけることも魅力です。普段から、性別、種目、年次の垣根を越えて楽しく活動しています。支えてくださる顧問の先生方、大会に応援に来てくださるOBの方々や家族に感謝しながら、これからも部活動に励んでいきます。

（令和7年度 主な成績）

- ・東海高校総体出場  
〈男子〉500m自由形、  
1000m平泳ぎ、2000m平泳ぎ、  
1000m背泳ぎ、2000m背泳ぎ、  
200mバタフライ、  
4×100mフリーリレー、  
4×200mフリーリレー、  
4×100mメドレーリレー  
〈女子〉400m自由形、  
800m自由形、  
100mバタフライ、  
4×100mフリーリレー、  
4×200mフリーリレー、  
4×100mメドレーリレー  
・東海選手権 岐阜県代表選出  
〈男子〉100mバタフライ、  
200m背泳ぎ、1000m自由形、  
200m個人メドレー

現役生の声 部長 3年次生 永井秀直

現在、水泳部は13人で活動しています。主な活動目標は、「自己ベストの更新」と「県大会などでの上位入賞」です。今年度の主な実績としては、東海大会10人出場です。平日は、放課後にメモリアルセンターに行き、休日は午前中から昼にかけて練習しています。水泳自体は、個人競技がメインとなりますが、練習ではお互いに励まし合いますが、声を出し合っています。一本集中して真剣に泳いでいます。それぞれが自分の目標に向かって着実に成長できる部活動です。互いに個人力をたかめながら、チームとしてのレベルの向上にも努めています。

卒業生の声 平成5年卒 浅野拓郎

当時プールと部室が校内にあり、夏場はすぐに泳げる便利な環境でした。ただ、総コンクリート製の外プールでとても床が熱く、ターンで擦り傷も絶えませんでした。一度練習を抜け出した罰で、そのコンクリの上で正座をしたのも懐かしい思い出です。



●卓球部



に加え、実戦を想定した練習や、対外試合を通して実戦力を高め、県大会上位進出や、東海大会・全国大会への出場を目標に活動しています。

(令和7年度の主な成績)

- ・東海高等学校総合体育大会 女子シングルスベスト8
- ・全国高等学校総合体育大会 女子シングルス出場
- ・県高等学校新人卓球大会 男子団体 ベスト8

現役生の声 部長 3年次生 吉村 聡真

卓球部は今年度、県の団体新人戦でベスト8に入賞することができました。そして5月に行われるインターハイ予選で県ベスト4に入賞することを目標として日々練習を続けています。練習では各個人が基本的な技術から磨いていくことで、部全体で実力をつけていこうと努力しています。また、練習する仲間との積極的なコミュニケーションをとることで、課題を早期に発見し、解決までにかかる時間を短くし、効率の良い練習をしています。部員全員が卓球を楽しみながら試合での勝利を目指して活動しています。これからも気合いを入れて練習に励んでいくので応援よろしく願います。

卒業生の声 平成15年卒 田中 健一郎

旧校舎1階の暗がりでもピンポンに励んだなつかしの日々。

卓球部は、「技術向上」と「人としての成長」を大切に、日々の練習に取り組んでいます。基礎を重視した練習

陰気な部風に拍車をかける劣悪な環境でしたが、中学生主体のいる県大会で大人気なく団体戦3位入賞。母校の宣伝に貢献(?)したことが最高の思い出です。



●バドミントン部

バドミントン部は、基礎を重視した練習と、学年を越えたチームワークを強みに、地区大会での上位入賞や県大会への継続出場といった成績を着実に重ねており、日々の練習では、フットワークやショットの精度向上に取り組みながら試合を想定した実戦的な練習を通して実力を高めています。

- (令和7年度の主な成績)
- ・東海高等学校総合体育大会 女子団体 出場





**現役生の声 部長 3年次生 山本直樹**

バドミントン部は、小学時代からの経験者から、高校で始めた初心者まで、さまざまな人が所属しています。そのため、初心者は経験者に分からないことや困っていることを積極的に質問し、技術の向上に励んでいます。一方経験者も教えることを通して、バドミントンへの理解を深めています。毎年春頃に行われるインターハイ予選に向けて、仲間と切磋琢磨しながら日々練習に取り組んでいます。

このように、バドミントン部は生徒主体で活動しており、自分たちで練習メニューを考え、より上達するために試行錯誤を繰り返しています。今後も大会で良い結果が残せるよう、部員一人一人が頑張っていきます。

**卒業生の声 平成5年卒 後藤健介**

飄々とした雰囲気、顧問の田中先生の下、強豪ではなかったが仲間と懸命に励んだ思い出。最近タイの子会社のスタッフの間でバドミントンが流行っており、自分も誘われて30数年ぶりに再開しました。



**● テニス部**

テニス部は、基礎を大切にしながら、仲間と声を掛け合い、日々コートに立っています。県大会での上位進出や、東海大会への出場といった成果を積み重ねる一方で、勝敗だけにとらわれず、練習を通して培われる粘り強さや協調性、先輩から後輩へと受け継がれてきたチームワークを何よりも大切にしながら日々練習を重ねています。



**(令和7年度の主な成績)**

- ・岐阜県高等学校総合体育大会
- 男子団体 第3位
- 女子団体 第3位
- ・岐阜県高等学校テニス新人大会
- 男子団体 準優勝
- 女子団体 第3位

**現役生の声 部長 3年次生 伊藤霞**

私たちテニス部は、日々明るく活動しています。平日の練習ではラリーや基礎練習を中心に、休日はゲーム形式の練習など実戦的なメニューに取り組んでいます。また、練習内容は部員自身で考え、自分たちの課題に沿って工夫しながら進めているのも特徴で

す。大会では、全員が勝利を目標に掲げ、一本一本に集中して真剣にプレーしています。初心者から経験者までそれぞれが自分の目標に向かって着実に成長できる部活動です。互いに高め合いながら、チーム全体でのレベル向上にも努めています。

**卒業生の声 平成15年卒 古谷祥子**

男女とも県内有数の強豪で、キツイ練習をサボろうとした思い出も。10年ほど前に真新しい人工芝のテニスコートを訪れた時、羨ましくも、原風景の喪失を寂しく感じました。



部活動紹介(文科系)

●吹奏楽部

吹奏楽部は、聴く人に感動を届ける演奏を目指して、日々練習に励んでいます。勉強との両立を大切にし、限られた時間の中でも工夫を重ねながら、演奏技術と表現力の向上に努めています。

夏のコンクール、冬のアンサンブルコンテストや個人コンテストでは県大会金賞、東海大会・中部本大会への出場を目標としています。また岐阜市内5校コンサート、定期演奏会、文化祭など、地域や学校の行事にも意欲的に取り組んでいます。

2年1か月の活動を通し、部員は互いに切磋琢磨し、励まし合いながら、多くの経験を共有します。その過程で生まれる挫折や達成感、仲間との絆をより強くし、かけがえのない存在へと成長させてくれます。



(令和7年度の主な成績)

- ・ 中部日本吹奏楽コンクール 岐阜県大会 金賞
- ・ 岐阜県吹奏楽コンクール 岐阜県大会 金賞
- ・ 東海吹奏楽コンクール 銀賞
- ・ 岐阜県アンサンブルコンテスト 岐阜県大会 サクソフォン四重奏 金賞 木管八重奏 銀賞
- ・ 中部日本個人・重奏コンテスト 個人の部
- ・ 岐阜県大会 トランペット 金賞
- ・ アルトサクソフォン 金賞
- ・ 本大会 アルトサクソフォン 金賞

現役生の声 部長 2年次生 松隈 愛結乃

私たちは仲間と共に、一人一人の良さを生かした音楽を目指して練習しています。昨年度は、東海吹奏楽コンクールで銀賞、岐阜県吹奏楽コンクール・中部日本吹奏楽コンクール県大会で金賞をいただきました。今年度も、昨年度の自分達を超えようと日々の練習に取り組んでいます。

また、私たちが大会と同等の熱量を持って取り組んでいるのが、毎年5月に不二羽島文化センターで開催している定期演奏会です。定期演奏会は、私たちがこれまでの活動の集大成として、演奏はもちろん演出に至るまで、部員全員で協力して創り上げる、1年の中で最も大切な演奏会の一つです。同窓生の皆様もぜひお越しください！

卒業生の声 平成15年卒 武井 雄紀

極寒の華陽校舎、ロングトーンから始まる放課後が懐かしいです。

一年生夏コンの曲H A V E N D A N C Eは、今でも各楽器頭の中で再生できるくらいお気に入りでした。



●書道部



書道部は、日本の伝統文化である書道を通して、文字の美しさと表現力を磨いています。楷書・行書・草書の基礎練習や古典の臨書を大切にしながら、書道パフォーマンスにも挑戦し、一人一人の個性を活かした作品制作に

取り組んでいます。校内行事での作品展示に加え、県内外の各種書道展にも積極的に出品し、入賞や入選などの実績も重ねています。

**(令和7年度の主な成績)**

- ・ 全国高等学校総合文化祭 書道部門 岐阜県代表
- ・ 全国高校書道パフォーマンス選手権大会(書道パフォーマンス甲子園) 中部代表

**現役生の声 部長 3年次生 加納 妃奈乃**

書道部は、「書」というものを大切にしながら、仲間とともに日々技術と感性を磨いています。平日部活では様々な書体に取り組み、筆づかいや墨の濃淡による表現方法を研究しています。集中して作品制作に励むことで、着実に実力を伸ばしています。また「書道パフォーマンス」にも力を入れていきます。8大会連続で「書道パフォーマンス甲子園」に出場できるように、会場全体をひとつにするような迫力ある作品を完成させられるよう頑張っています。私達書道部は、「岐高らしさ」という伝統を尊重しながら新しい表現に挑戦し続け、個人の成長と部全体の団結力を大切にしながら活動していきたいと思っています。

**卒業生の声 平成15年卒 中村 諒子**

部員の皆がとても味のある作品を仕上げるのでいつも刺激をもらっています。

した。今でいう「推し」の歌詞を作品にするのがとても充実した時間でした。



**● 音楽部**

音楽部は、合唱を中心に声を合わせることの楽しさと音楽表現の奥深さを大切にしながら活動しています。発声やハーモニーの基礎を重ね、一人一人が自分の声と向き合い、仲間の声に耳を傾けることを通して、日々活動しています。主な活動として、コンクールに出場したり、地域の施設にボランティアで歌に行ったりしているほか、3月には定期演奏会も開催しています。



**(令和7年度の主な成績)**

- ・ 東京国際合唱コンクール 金賞受賞
- ・ 全国高等学校総合文化祭 合唱部門 岐阜県代表
- ・ 第36回ぎふヴォーカルアンサンブルコンテスト 金賞
- ・ 第19回声楽アンサンブルコンテスト 全国大会出場

**現役生の声 部長 2年次生 中村 俊太郎**

音楽部では各種大会、定期演奏会、老人ホームでのコンサートなど幅広く



活動を行っています。日頃の練習では部員全員で目標を共有し、一人一人が自ら考え、時に学年・声部の壁を越えて意見を出し合うことで技術を高めています。また毎年3月に開催している演奏会では、多くの方にご来場いただいています。お客様に心から楽しんでいただくために、合唱の技術を高めることはもちろん、ステージ構成を生徒主体で組み立て、参加型企画を取り入れるなど工夫を凝らしています。今後、も聴いてくださる方の心を動かす歌声を響かせられるよう、部員一丸となって活動していきます。

**卒業生の声 昭和58年卒 Dairymple 規子(合唱部)**

昭和55年(1980年)、当時一年生の林秀幸君の呼びかけで最初は男性4名から始まった合唱部。その後、課内合唱クラブの私たちや後輩に声がかかり、混声合唱の形が整ったのはその翌年のことでした。

NHK合唱コンクールにはわずかに9名で参加したり、秋の岐阜祭合唱クラブと合同での発表に向けて、毎日熱心に練習していたことを思い出します。



●自然科学部

自然科学部は、生物・化学・物理の班で構成し、それぞれの分野で探究活動を行っています。実験や観察、データ分析を通して、科学的に考える力と、主体的に学ぶ姿勢を育んでいます。研究成果は校内発表に加え、県内外の自然科学系の大会や研究発表会にも参加し、入賞・入選などの実績を重ねています。部員同士が刺激し合いながら、研究を深め、探求する楽しさと達成感を味わいながら活動しています。



(令和7年度の主な成績)

- ・令和7年度 缶サット甲子園 岐阜地方大会 特別賞
- ・第69回岐阜県児童生徒科学作品展 最優秀賞、優秀賞
- ・第13回岐阜県自然共生事例発表会 優秀賞
- ・東海地区理科研究発表会 優秀賞、奨励賞
- ・県高等学校総合文化祭自然科学系部活動研究発表・交流会 最優秀賞
- ・高校化学ブランドコンテスト 金賞
- ・日本化学会東海支部高校化学研究発表交流会 優秀発表賞
- ・高校生ポスター発表会(染色体学会) 審査員賞
- ・日本学生科学賞 入選3等
- ・科学の芽賞 努力賞
- ・岐阜市環境活動顕彰
- ・日本生態学会大会
- ・ジュニアポスター審査員特別賞

現役生の声

生物班代表 3年次生七枝利亨

私たちは現在両生類(ヤマトサンシヨウウオ、アカハライモリ)・魚(アユ、コイ)・昆虫(アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、ホソオチョウ)・植物(フスノキ)の4つの研究グループに分かれて、それぞれのグループで意見を交わし合い、研究や保護活動に取り組んでいます。また、グループの垣根を越え、本年で19年目を迎えたヤマトサンシヨウウオの保全活動や年二回のオオ

サンシヨウウオ調査、夜間のアユ仔魚降下調査などを通して種の保全や野外個体の調査に貢献することができました。秋のオオサンシヨウウオ調査では、各務原市の小学生と活動を行い地域交流ができました。今年から私たちの活動をもっと多くの人に知っていただきたいという思いから、発表会や調査などの活動の様子をSNSで発信しています。今後も調査や研究を継続して行い、生物について理解を深めていきたいと思えます。

卒業生の声

昭和58年卒 早川 信明(化学部)

砂で山を作り薬品を燃やして火山の真似ごととして緑色の火山灰を積もらせるとか：

毎回火災報知器鳴らしては違いますが、すって駆け込んだな。



●囲碁・将棋部



囲碁・将棋部は、囲碁・将棋を通して、先を読む力や論理的思考力、集中力を養っています。対局や研究会を重ねながら、戦術や定石の理解を深め、互いに切磋琢磨しています。大会にも積極的に参加しており、県大会をはじめとする各種大会で入賞・上位進出などの

実績を重ねています。落ち着いた雰囲気の中で、対極に集中しながら、仲間との交流を深め、思考する楽しさと勝負の奥深さを感じながら活動しています。

**(令和7年度の主な成績)**

- ・ 全国高等学校総合文化祭 囲碁部門、将棋部門 岐阜県代表
- ・ 全国高等学校囲碁選手権大会 男子団体、男子個人、女子団体、女子個人 岐阜県代表
- ・ 東海地区高等学校囲碁選手権大会 男子個人 岐阜県代表

**現役生の声 3年次生 伊藤 優磨**

囲碁・将棋部では各種大会や定期的に行われる他校との練習会を通して、一人一人が技術を上達させるために真剣に活動に取り組んでいます。また、僕たちの部活動では年次関係なく部員全員が、和気あいあいとした雰囲気、自分の得意を伸ばして苦手を克服するために技術や知識を共有し、学び合うことを大切にして活動しています。今年度は、東海大会に行くことはできなかったものの、残念ながら全国大会に進むことはできなかったため、これから参加していく大会では部員全員が自分の全力を出し切り、以前までの自分を超えることを目標に、日々精一杯努力を重ねていきたいです。



**卒業生の声 昭和58年卒 野々垣 貴美子**

高校2年生で囲碁・将棋部に入部。きっかけは、担任の先生が顧問だったこと。

ルールから覚え、部室で毎日対戦してくれた皆のおかげもあり、団体戦で全国大会へ進むことができました。



**● 文芸部**

文芸部は、小説・詩・短歌・俳句などの創作活動を通して、言葉で表現する力を磨く活動を行っています。作品

の執筆や批評を重ねながら、発想力や表現力を高めています。

活動の成果は部誌・Lots(年2回)の発行と配布に加え、県内外の文芸コンクールにも積極的に応募参加し、入選・入賞などの実績を重ねています。

落ち着いた雰囲気の中で、互いの作品を尊重し合いながら、創作する楽しさと達成感を感じながら活動しています。



**(令和7年度の主な成績)**

- ・ 全国高等学校総合文化祭 詩部門 岐阜県代表
- ・ 県文芸コンクール 詩部門 第2位
- ・ 小説部門 第3位

**現役生の声 部長 3年次生 諏訪 心桜里**

岐阜高校文芸部では、毎年2回の部誌・Lotsの発行・配布を中心に

文芸作品の創作活動を行っています。活動は水曜日と金曜日の週2回となっていますが、部誌発行が近い時期は多く、各自で創作を進める時期は比較的少なく、フレキシブルに部活動を行っています。兼部をしている部員が多く、また好きなジャンルも考えることも違う個性豊かなメンバーなので、こんな作品を読みたいとリクエストすることもあるほど互いの作品を読むことを楽しんでいます。人数は少なく苦労することも多いですが、その分アットホームな雰囲気です。

めっています。

**卒業生の声 平成5年卒 安藤(小野木) 智子**

ロッカーで仕切られた共用の部室。作家や作品について語り合った日々が懐かしいです。



●美術部

美術部は、絵画やデザインなどの制作活動を通して、表現力と創造力を磨いています。自由な発想を大切にしながら、個人制作や共同作品にも取り組み、一人一人の感性を生かした作品制作を行っています。

作品は校内展示をはじめ、県内外の美術展に出品しており、入賞・入選などの実績を重ねています。

落ち着いた雰囲気の中で、互いに刺激を受け、表現する楽しさと達成感を感じながら活動しています。



(令和7年度の主な成績)

- ・岐阜県青少年美術展 入選3人
- ・岐阜県高等学校総合文化祭美術・工芸展 入選4人
- ・羽島市美術展 入賞・入選3人
- ・各務原市美術展 入賞1人
- ・本巣市美術展 入賞・入選6人

現役生の声 部長 3年次生 大澤 璃子

美術部は1年次生10人、2年次生5人の15人(令和8年3月現在)で活動しています。学年を越えて雑談をしたり、作品について意見交換したりなど、温かい雰囲気の中で仲良く作品制作をしています。各個人が様々な美術展に向け、

納得のいくまで作品のクオリティーを高めようと頑張っています。普段の活動だけでなく、美術部は文化祭にも力を入れ、今年はネイルやタトゥーシールなどのブースで盛り上げました。美術部で美術館見学に行き、多彩な作品に触れる機会もありました。今後、先輩方から受け継いだ美術部の明るく温かい雰囲気を大切にして、活動に励んでいきます。

卒業生の声

平成5年卒 白木(花輪) 千鶴

部活の思い出は、飛騨方面への写生旅行です。

普段は余り熱心な部員ではありませんでしたが、仲間の作品から刺激を受けて制作に取り組んでいました。



●クイズ研究部

クイズ研究部は、早押しクイズを中心に、日々クイズ問題の研究をしています。

ます。また、他の高校のクイズ研究部と交流があるだけでなく、社会人クイズサークルの方のご厚意で例会に参加させていただくなど、校外での活動も盛んに行っています。

昨年も、約5000校から勝ち抜いた42校の一つとして、第45回全国高校クイズ選手権(高校生クイズ2025)日本テレビ主催の全国大会に出場しました。また、第20回全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)全国大会に出場したチームは、敗者復活戦を勝ち抜いて決勝戦に駒を進め、見事5位入賞を果たしました。

(令和7年度の主な成績)

- ・第45回全国高校クイズ選手権 (高校生クイズ2025)
- 日本テレビ主催) 出場
- ・第20回 全国高校生金融経済クイズ選手権
- 「エコノミクス甲子園 岐阜大会」
- チーム名「たけしげ」優勝
- 全国大会5位入賞





現役生の声 代表3年次生 神谷涼太

岐阜高校クイズ研究部、通称「GHQ」に今年度も多くの優秀な後輩が入部しました。どの後輩もクイズに対して真摯に向き合い全力で努力をしてきていて、11月に行われた中部の新生大会に14人も参加し、輝かしい結果を残してくれました。来年こそは団体戦クイズ大会「AQI」で全国出場してくれるのではないかと今からとても期待しています。

ふだんの練習としては、部活動内では早押しボタンを用いて早押しクイズを行い、部活動外でも「暗記アプリ」を用いて知識を広げています。各々が自分に合った練習方法で、大会でライバルに「勝てる」ように日々切磋琢磨しています。

卒業生の声 平成15年卒 服部徳哉

私たちの部の自慢は、どの部活も成し遂げていない地上波のゴールデンタイム(タイムショック)に映った事です。

結果としては、知力による天下布武は叶いませんでしたが、当時の岐阜高校のどの部活よりも全国制覇に近かった部活だと自負しております。



●かるた同好会

かるた同好会は、百人一首の魅力と日本の伝統文化を大切にして、記憶力と集中力を磨き、日々の練習を行っています。練習をすればするほど競技力が上がっていくことが実感でき、「競技かるた」の世界にのめり込んでいきます。

(令和7年度の主な成績)

- ・第47回全国高等学校選手権大会C級 3位
- ・第25回全国競技かるた愛知大会E級 3位

- ・第83回全国競技かるた桑名大会E級 優勝

- ・第7回岐阜県かるた選手権大会E級 優勝

- ・第47回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会 岐阜県予選 第4位



現役生の声 3年次生 大橋ありす

岐阜高校かるた同好会では、百人一首の魅力を感じながら、集中力と技を磨き、日々練習に取り組んでいます。

「競技かるた」ならではの礼節や敬意を大切に、教え高め合える関係を目指しています。かるたを心から楽しみ、好きになれる環境が私たち同好会の強みです。会員の多くが入会当初は初心者でしたが、今では全国高校選手権大会での入賞、全国高校総合文化祭の代表

選出など優れた個人成績を残すまでに成長しました。次の目標は、近江神宮で開かれる団体戦の全国大会に出場することです。5月の岐阜県予選に向けて、会員一丸となって練習に励んでいきます。





## 課外活動

### ●第3回全国政策甲子園 最優秀賞受賞

政策甲子園とは、次代を担う高校生が主役となり、日本の未来を創るための具体的な政策を立案・提言する全国規模の政策コンテストで、令和5年度より日本青年会議所が主催しています。

令和7年度に開催された第3回大会には全国から352チームがエントリーをし、書類審査、地区予選大会を勝ち抜いた本校の2年次生4名からなる「岐阜高校アグリ班」が、国会議事堂で開催された決勝大会に臨み、見事、設定部門における最優秀賞チームに選ばれました。



プレゼン動画



岐阜高校アグリ班：農業やるならSEED！  
～新規就農支援プラットフォーム～  
(公益社団法人日本青年会議所)

12月25日には首相官邸で高市首相に直接政策を提言し、総理からは「現実的な政策提案に心強く思う。これからも活躍してほしい」とのコメントもいただきました。なお、提言した政策の概要は以下の通りで、県の農政課等からの聞き取りに基づく、現実的で具体的な提案とわかりやすいプレゼンテーションが高い評価を得ました。

提言した政策…

「農業やるならSEED！」新規就農支援プラットフォームの提案」

（農業におけるDXを通じたプラットフォームを開発することにより、新規就農のハードルを下げ、農業人口減少の抑制を目指すというものです。）

## ●ハモネプでの活躍

令和7年7月26日(土)にフジテレビで放送された「青春アカペラ甲子園! ハモネプハイスクール」に全国から予選を勝ち抜いた10組の高校生グループの一つとして岐阜高校が出場しました。



岐阜高校は1回戦で菅田将暉さんの「虹」を披露しました。SIXTONESのジエシーさんは、「見た目とのギャップや、人柄が歌に表現されていて良かった」「この大舞台で堂々と挑戦している姿は本当にすごくて、輝いてみえた」とコメントしています。

歌唱動画



【ハモネプ2025夏】  
岐阜高校「虹」菅田将暉  
1回戦歌唱動画♪  
((公式)ハモネプチューブ)

## ●科学の甲子園 「第13回科学の甲子園 全国大会」で総合成績第3位

科学の総合力を競う大会で、8人の団体で筆記競技や実験競技の総合得点で競います。岐阜高校は県予選を勝ち抜き、第1回大会より15回連続で県代表として全国大会に参加しており、第6回大会では総合優勝を果たしています。他にも、2位1回、3位2回、4位1回など、上位入賞の常連校となっています。近年は全国的な知名度も上がり、全国の名だたる進学校が県代表として参加するため、全ての競技で上位に入らないと総合優勝は望めなくなってきました。

今年も県予選を勝ち抜いたチームで競技に挑み、筆記競技、化学実験の競技、地学実験の競技、事前に競技内容が公表されるモノづくりの競技の4種

目の総合で上位を目指します。今回のモノづくりの競技は、「目指せ!電磁力でカプイン」という名称で、コンデンサに蓄えた電力で発生させた磁力で、アルミニウム製のリングを離れた的に正確に投射する競技です。第13回大会では総合3位と健闘しましたので、今回の大会では更なる上位を目指して準備を進めています。



いかがでしたでしょうか。

岐阜高校の部活動は、伝統を継承しつつ、日々進化、発展しながら、現在も輝かしい成績を収めています。今回は、誌面の都合等もあり、全ての部活動を紹介することはできませんでしたが、その他の部活動においても、活発な活動が展開されています。

同窓会としても、厳しい環境の中、努力や工夫を重ねながら頑張る在校生にエールを送るとともに、活動環境の整備や全国大会出場時の支援、卒業生による技術・進路面での助言などを通じて、次世代の岐高生を支える役割を果たしていきたいと思えます。

お忙しい中、取材等にご協力いただきました関係者の皆様、ありがとうございました。



特集2

3世代岐高生家族インタビュー

高校受験の時の思い出  
(合格した時の気持ちなど)

別に何の感慨もなかった。岐阜高が特別な学校であることが分かったのは、のちのことだった。

野田 勝さん  
S38年(1963)卒

校舎南に張り出された合格発表の紙を見て、憧れの学校に入ることができ喜びを感じました。従弟も同じ学年にいたため、一緒に見に行き、従弟家族も含めて喜びあったのを覚えています。

瀧 麻里子さん(旧姓野田)  
H55年(1993)卒

絶対無理と言われたところからの合格だったので嬉しかったです。

瀧 悠菜さん  
R5年(2023)卒

通学方法

**自転車**  
当時は交通量も交通信号も少なく、家から(オーキッドパーク付近)10分足らずで着けた。忘れ物をして取りに帰った時、往復11分で戻れたことがある。

**自転車**

まっすぐで、寄り道する場所もなく、電車、バスで岐阜駅付近を通過して、帰りにちよつと喫茶店などに寄っておしゃべりする、という友達がうらやましかったです。

**自転車**

出来るだけ信号に引っかからない道を探したこと。

好きだった授業と授業に関する思い出

**国語**  
古典の授業で、単語と文法がつながって意味が紡がれていくことがわかり、「学問」の門に入ったような気持ちになれたこと。

**林先生の世界史**

ついて行くこともできていないくらい、どの授業もアップアップでしたが、友達とお弁当を食べながら、問題を出し合ったり、知っていることを教えてもらったりしたこと、「できないねえ、難しいねえ」とおしゃべりがあったことで救われていました。  
質問に間違えて、国語の文法書にごめんなさいをした後、自分で頭をパンツとすること、英単語の小テストで点数が取れず、「〇点以下、まだ人間になっていない!」と言われて「早く人間になりた〜い!」という呟きにクラスみんなで笑ったこと、先生の口癖の回数を数えたこと、挙げたらキリがありません。

**国語**

面白い先生が多かったこと。

所属していた部活

**生物部**  
カエルの解剖がかわいそうだった。



**バドミントン部**


田中先生の軽やかなフットワークにいつも見惚れていました。パートナーと岐大の練習に参加させていただいたこともありました。

**音楽部**

大会で優勝したこと。



<p>一番心に残っている高校時代のイベントは？</p>	<p><b>三年の時の文化祭の劇</b> 男子クラスだったので、主役の女子がおらず、隣のクラスの女子に頼んで出演してもらった。メロクが終わったその女子を公会堂(現 ぎふしんフォーラム)までバイクの後ろに乗せて、運んだのが一番の思い出。</p>	<p>お昼ごはんはお弁当？ 購買利用？</p>	<p><b>お弁当</b> 母に毎日作ってもらっていた。今から思ったら、大変なことだったと思う。</p>	<p>学校施設に関する思い出(校舎など)</p>	<p>木造校舎で、学校全体がギシギシいていた。</p>	<p>今の自分から高校時代の自分に伝えたいこと</p>	<p>友達を見て、劣等感に陥ってばかりいたが、もう少し大らかに自分を見ても良かったかも。</p> 	<p>今の岐高生に伝えたいこと</p>	<p>自信と謙虚さを合わせた大人になっていくべき。</p>
<p><b>文化祭</b> 憧れの先輩の活躍を見に行きました。</p> 	<p><b>お弁当</b> 授業の欄に書いたように、食べながら、いろいろな授業に役立つ豆知識を友達に語ってくれるのを聞いて、「みんなすごいなあ。よく知っているなあ」と思っていました。</p>	<p>古い校舎。土足でした。雨漏り、バドミントンをする床がフワフワする旧体育館。新とつくのには、雨漏りする新体育館。</p>	<p>「背伸びをして入った高校だったけれど、楽しみ、たくさん仲間に出会い、将来への道につながる選択だったよ。」と伝えたいです。 余談ですが入学した頃の頃、父に校歌の中の「国家のために明け暮れ学ぶ」は今時、時代遅れで軍歌みたいね。私は私のために勉強しているのに。」と話しました。すると「そういうことではないと思うなあ」という返事でした。当時はその意味が全く分からず、「戦争中みたい」と重ねて思ったものでしたが、今、仲間の活躍を見ると、地域、県、国、世界のために、舞台上で活躍している方々、広い視野で動いている方々ばかりです。「広い視野、場所が動くことのできる人であるために…」と捉えるのか、と思い直しました。と同時に今の自分はそんな大きな立場にはいませんが、でも、未来の「国」のために、と思いながら仕事をする、そんな視点も持たなければと思います。 娘が音楽部で校歌を歌うたびにこのエピソードを思い出し、また、父と娘といろいろなことを思い出しながら一緒に歌えることを嬉しく思います。</p>	<p>いろいろな才能あふれる、力のある岐阜高校の仲間は、大人になっても手を差し伸べてくれる心強い仲間でもあります。その仲間達と、たくさんのかっこいいことを楽しみ、たくさんのかっこいい自分を自分の中に作ってほしいと思います。大人になってから、きつと武器になり、励みや支えになり、宝物として自分の中に残って行くと思います。</p>					
<p><b>文化祭</b> クラスのみんな準備したこと。</p>	<p><b>お弁当</b> 購買のおやつパンを買うためにお金を貯めたこと。</p>	<p>音楽室で雨漏りがしてブルーシートをピアノにかけたこと。</p>	<p>自分のやりたいことをやって！</p>	<p>自分の本当にやりたいことに突き進んでほしいなあ。</p>					

高校受験の時の思い出(合格した時の気持ちなど)	通学方法	好きだった授業と授業に関する思い出	所属していた部活
<p>友人たちも全員合格し心強かった。</p>	<p><b>徒歩</b></p> 	<p><b>国語、生物</b></p> <p>1年間は女子クラス(校舎も4クラスが独立していた)</p>	<p><b>珠算</b></p> <p>(部活として成立していたかは不明)</p> <p>先輩達に誘われ、全国大会出場のために上京した経験もあります。</p>
<p>当時は学校群制度で、5群(岐阜高校か加納高校は多分定員丁度でしたので、どちらの高校になるかが気がかりでした。合格発表で岐高とわかり喜んで覚えがあります。</p>	<p><b>徒歩or自転車</b></p> <p>男子学生は当時、岐高のみが学生帽を被ることを校則で義務化されており、それに抵抗があつて校門の近くに来てから被っていた思い出があります。</p>	<p><b>体育</b></p> <p>1年生の担任の先生に、授業中よく出席簿で頭を叩かれたことは、当時らしくいい思い出です。</p>	<p><b>軟式テニス(現ソフトテニス)</b></p> <p>優勝はできませんでしたが、岐阜地域では団体戦・個人戦ともに何度が賞状をいただくことができました。また、試合や対抗戦を通じて、他校にも友人ができました。</p>
<p>絶対に岐阜高校に受かるために、中学で内申点を取ることを凄く意識していました。</p>	<p><b>自転車</b></p> <p>家が高校から近いので、お昼ご飯を忘れた時には昼休みに帰って取りに行った記憶があります。</p>	<p><b>音楽</b></p> <p>具体的ではありませんが、どの授業も楽しかったです。</p>	<p><b>硬式テニス部</b></p> <p>厳しい先生の下、良い先輩・同期・後輩に恵まれてとても充実した日々でした。</p>

**山田 美喜子さん(旧姓 大塚)**  
S 34年(1959)卒

**山田 誠さん**  
S 58年(1983)卒

**山田 遼さん**  
H 24年(2012)卒

<p>一番心に残っている高校時代のイベントは？</p>	<p>お昼ごはんはお弁当？ 購買利用？</p>	<p>学校施設に関する思い出（校舎など）</p>	<p>今の自分から高校時代の自分に伝えたいこと</p>	<p>今の岐高生に伝えたいこと</p>
<p><b>学校祭、体育祭</b> 2年生の時にクラスで演劇。体育祭のフオーダンス。</p>	<p><b>購買部を時々利用。通学途中にパンを買うことが多かった。</b> 小さな購買部に一時に押し寄せるので、いつも混んでいた思い出があります。</p>	<p>男女混合の3クラスが校舎の端にあったため、中央にある職員室に行く時、男子クラスの前が通りづらかった。</p>	<p>精一杯努力をした思い出はないが、短大へ上京させてもらったことで、恩師や良き友人たちとめぐり逢え、自分の財産となった。</p>	<p>「和を似て貴しと為す」、出会いを大切に。</p>
<p><b>修学旅行</b> 学年を二班に分けて行動していましたが、一緒の班の他クラスの子が、大怪我をして救急搬送されたことが、大変ショックだったことを覚えています。</p>	<p><b>お弁当、時々購買利用</b> 弁当持参しない時に、購買部へ行って食べたいパンなどを探すのは楽しみでした。</p>	<p>旧校舎に校庭からの砂埃が舞い込んできて、床にうつすらと溜まっていた光景は、今でも思い出されます。</p>	<p>高3の高校連県大会まで部活に全力を注いでいましたので、その時点の成績は現役合格が危ういレベルでした。夏休み後半から受験モードに切り替え現役で合格できたことは、よく頑張ったと伝えたいです。</p>	<p>今回の特集で、現役の岐高生の皆さんは勉強のみならず、部活や様々な課外活動で活躍されているのを実感しました。これらの活動は社会へ出てからもきつと役に立つと思いますので、それぞれの興味のある分野でチャレンジしてみてください。</p>
<p><b>文化祭</b> 3年生の文化祭で自分の出し物が終わった後に、クラスのみんなにプレゼントをもらい、感極まって泣いてしまいました。</p>	<p><b>お弁当、購買利用</b> 高校生で食欲もあつたので、ご飯をカンカンに詰めてもらっていました。</p>	<p>ちょうど旧校舎から新校舎への移行の世代であり、とても綺麗な新校舎で気持ちよく高校生活を送らせてもらいました。</p>	<p>もっとちゃんと勉強してください。</p>	<p>岐阜高校時代の友人はみんなしっかりしており、一生頼れる友人かと思えます。たくさんさんの繋がりを大切に過ごしてください！</p>

所属していた部活  
 好きだった授業と授業に関する思い出  
 通学方法  
 高校受験の時の思い出  
 (合格した時の気持ちなど)

**文芸部、図書部**  
 文化祭で大原女の着物(紺と赤いたすき掛け)を着たこと。馬籠宿の藤村記念館を訪ねたこと。お昼休み・放課後に図書館の受付をしながら岡本先生のお話が聞けたこと。

**国語、英語**  
 予習が出来なかった日は、ドキドキして授業を受けたこと。毎日の小テスト(単語・漢字等)で欠点を取ると、運動場を走らされたり(男子)、出席簿でゴツンとたたかれたりしたので恥ずかしい思いをしたくなって頑張りました。

**徒歩25分**  
 近いので自転車通学は認められませんでした。同級生と誘い合って通学し、試験・宿題・コンサート・映画等、語らいつの時間でした。

合格者が新聞に掲載されたので、近所の方々や、親戚や友人からお祝いを言ってくれたこと。女性が少ないので、心細い思いをしたこと。

**瀬川 順子さん**  
 S43年(1968)卒

**英語、体育、数学**  
 数学の武藤先生が、とても解説が分かりやすく苦手な数学もクリアになりました。  
 また、社会の岡戸先生が遺跡発掘について熱く語るお話を聞きながら、好きな事を仕事にしたいと思いました。

**自転車**  
 自転車で20分かけて通学。雨の日は、今はなき路面電車を利用。柳ヶ瀬のツルツルの道を、友人と自転車レースをしながら通っていた事を覚えています。  
 部活の帰りに、コロッケを買って食べる事を楽しみにしていました。

**バレーボール**  
 先輩、後輩を問わず仲の良いチームでした。結婚や出産を経てからも集まる機会があり、とても大切な仲間です。先輩方が、とても熱心に指導して下さいましたお蔭で、強豪校に勝つ事が出来た事が良い思い出です。

合格発表を岐阜高校に見に行き、掲示板に自分の受験番号が載っていたのを鮮明に覚えています。小学校からの友人も一緒に合格出来たので、とても嬉しかったです！  
 また、祖母や母、姉、兄と同じ学校に通える事がとても楽しみでした。

**脇 亜矢子さん(旧姓 瀬川)**  
 H13年(2001)卒

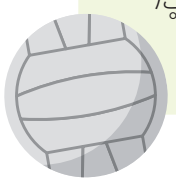
**体育**  
 周りの人がみんな頭良く驚いた。  
 多彩な人が多く、とても刺激になった。

**自転車**  
 雪の中自転車を漕いでいたら滑って転んだ。

**バレーボール**  
 同級生がたくさんいて、ワイワイ楽しかった。

塾の友達と毎週切磋琢磨した事。合格発表を現地で見たこと。

**瀬川 莉央さん**  
 R10年(2028)卒業予定



一番心に残っている高校時代のイベントは？

### マラソン大会、文化祭

マラソン大会(女子は3学年、一緒に堤防を駆け上がって3km?走らされたこと)。10番以内でゴールできたこと。  
修学旅行は、仲の良い友人たちと一緒に、とても楽しかったこと。

お昼ごはんはお弁当? 購買利用?

### お弁当、購買利用

母の作ったお弁当が、カラフルで好きなものが詰めてあって毎日、楽しみだったこと。  
購買部のお惣菜。パンは、女子は、なかなか買えなかった。時々、堤防で食べたかな?

学校施設に関する思い出(校舎など)

団塊の最後の学年なので、1教室に53人で後ろまでいっぱいで狭かったこと。寒かったこと。  
生物室や池には、驚きました。プールは、冬は、藻が生えていたこと。

今の自分から高校時代の自分に伝えたいこと

もっと勉強すれば良かったです。(真面目に取り組むだけでなく、目的を持って、メリハリをつけて取り組めばよかった。)

今の岐高生に伝えたいこと

身体作りに取り組んで欲しい。生涯を通しての友人と出会える高校(場所)の一つになったらいいですね。  
恩師との出会い、同窓生とのご縁を大切に。

### イベント

野球部の夏の高校野球の試合を、皆で応援に行った事を覚えています。暑い中、応援団の声援に合わせて、皆で応援に行きました!

### お弁当、購買利用

母の作ったお弁当は、早弁をしてランチタイムには無いので、購買で焼きそば。パンやシュガーパンを買う事とても楽しみにしていました。テスト明けに、バレー部で大きなパフェを食べに行く事が楽しみでした。

旧体育館がまだあった為、狭い更衣室で皆でおしゃべりをしながら、着替えていた事を覚えています。  
今でも、その写真は大切に保管してあります。ドアが傾いていて、出入りが大変でした。

先々を見据えて、得意な分野を伸ばす努力をするとうまくいったと思います!  
また、もっと視野を広げて色々な可能性を調べてみると二倍、三倍楽しめたと思います!

将来の明確な目標設定は難しいですが、今後A-1の発展により無くなる職業も多々出てきます。人間だからこそ、自分だからこそ出来る事は何か、今の瞬間の人の関わりを大切に高校時代を過ごして欲しいです。一生の友人を作る事が出来ると思います。

### 林間学舎

林間学舎でクラスのみんなの新たな一面を知れたこと。

### お弁当、購買利用

昼休みのお弁当が楽しみだった。たまに食べる購買のパンが美味しかった。

プロムナードの開放感が良かった。他クラスと交流ができた。

なし

なし



特集3

# 二〇二五年大阪・関西万博に関わった岐高生たち

## 自分の当たり前前が変化した、万博という現場

國江咲帆さん 平成27年卒



でした。会期中はパビリオン運営にも携わり、儀典対応やメディア対応、来場者対応などを通じて、一八四日間、無事に一日を終えることを積み重ねていきました。

### 万博に関わったきっかけは？

私は普段、店舗などの建築物に関する設計や工事監理を行う企業で働いています。二〇二三年五月、博覧会協会への出向を命じられたことが、万博との関わりの始まりでした。当時、万博会場ではパビリオン建築工事の遅れや不調が各方面から指摘を頂いていた時期でした。建築を専門とする企業である弊社に出向要請があり、その一人として現地に入ることになりました。経験値は浅かったものの、専門業者の主張と、建築業界とは縁もゆかりもなかった方々の考えを「通訳し、最大限の可能性を

今回の万博とどのように関わったか教えてください。

大阪・関西万博では、主催者である博覧会協会に出向し、協会主催事業であるシグネチャーパビリオンに携わりました。開幕二年前から閉幕後の締め作業までが私の出向期間でした。私の役割は、建築・展示・運営等多岐にわたる業務の間に立ち、計画と現実、理想の間に立ち、その落としどころを見つけ、各所に依頼を行う役割でした。当初は展示内容に合わせた建築計画の調整、予算管理、展示工事の調整など、建築分野の業務が中心でしたが、次第に協会のルールをどのように解釈し、時には整えながら現場に適用していくかを考える立場になりました。プロデューサー、協賛企業、施工者、広報、運営スタッフなど、立場や価値観の異なる人たちの間に立ち、「万博として成立するか」を常に問い続ける日々



探りながら、より良い道に進めていくことが求められていました。建築業界としてはまれな経験である、半年間の使用用途である仮設物の建築業務は初めての経験で、自由度の高い夢のある建築に期待もありましたが、自分の知識量で役に立っているのか、大きな不安も感じていました。ただ、実際に協会に飛び込んでみると、難しいこともありませんでしたが、より良いものを作りたい！わくわくするものを届けたい！という万博に携わる方のひとりとりの熱い思いが、困難なことを可能にするための手段を考え、衝突を重ねながらも、非常に熱量の高い現場でした。

### 岐阜高校での生活が、今のお仕事や万博につながっていると思えたことがありますか？

高校時代を振り返ると、「自分で考え続けること」を求められる環境だったと感じます。周囲には高い目標を掲げる仲間が多く、その中で自分は何を選び、どう進むのかを、常に自分自身に問い続ける必要がありました。万博の仕事も、明確な正解が用意されているものではありませんでした。建築の専門性だけでは通用せず、運営や広報、調整など、これまで経験してこなかった分野にも踏み込む必要がありました。何が最善かわからないまま判断を重ね

### 土屋裕睦さん

昭和58年卒

来場回数 1回

閉会間際、ようやく夜に入場できたので大屋根を一周して帰ろうと思いきや、あちこちのパビリオンから呼び込みの音が…。見ると勤務校の学生がバイト中。各国のスタッフと協働してイベントを企画をしたり、ダンサーとしてショーに出たり…。まさに国際交流。中には「この期間大学は行きません、万博留学です」という学生も。ふと自分も学生時代、筑波科学万博でボランティアに勤しんだことを思い出して「それもありだね」と伝えました。

### 倉谷和彦さん

平成15年卒

来場回数 3回

勤務先の展示の製作に一部携わらせて頂きました。また、家族でも小学生、保育園の子ども達と記憶に残る時間を過ごすことができました。今後跡地の開発が進むと思いますが、また日を改めて訪れてみたいです。





時には間違えながら前に進む。その連続に耐えられたのは、高校時代に培った忍耐力や、簡単に結論を出さずに考え続ける姿勢があったからだと思います。「立ち止まらずに考え続けること」が求められる場面で、高校での経験が静かに支えになっていました。

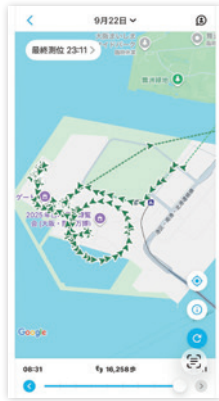
**万博に関わって字んだことや、得た経験は何ですか？**

これまでの自分の歩みは、企業に勤めることで、学歴や職種、価値観が似通った人たちに囲まれ、毎日の業務を積み重ねていく、という日々でした。しかし万博の現場には、その物差しでは測れない人たちが数多くいました。研究者、クリエイター、行政職員、現場スタッフ。背景も動機も価値観も異なる人たちが、同じ場所に立ち、同じ期間を走り切っていました。誰が正

しいわけでも、どの立場が上なわけでもない。ただ異なる視点が重なることで、新しいわくわくする世界が見えてくる。そんな発想が生まれてくる。その現場に身を置いたことで、生き方や価値観の多様性を自分の肌で感じて得たものでした。お客様に、多様な未来を創造し「いのち輝く未来社会のデザイン」を感じてもらえればと日々準備をしていましたが、この三年を通して、多様な文化や価値観、背景を持つ人たちと出会い、多くの影響を受けました。その中で、自分自身もまた、自分の選択によって多様な未来を選び取ることができるのだと実感しました。これから自分がどうなっていくのか、今はそれをとても楽しみにしています。万博は、来場した人も、つくり上げた人も、多様な未来にわくわくできる舞台だったと思います。

**匿名希望さん**  
平成15年卒  
来場回数  
4回

文化と技術の集結、そして参加者の熱量に圧倒されました！



二回行きました。子供の希望で二回とも大屋根リングを、歩いて一周しました。暑くて疲れました。

**匿名希望さん**  
平成5年卒  
来場回数  
2回



回廊巡りだけでも来場した価値がありました。皇居よりも広がったし、人も多かった。同伴の友人は吹田万博、愛知万博もと。

**匿名希望さん**  
昭和58年卒  
来場回数  
1回



会期末に訪れたためパビリオンの抽選も当たらず、とにかく人、人！大屋根リングを散歩して空気を纏って帰ってきました！



**矢野陽祐さん**  
平成15年卒  
来場回数  
1回

真っ白のミストに包まれたのもおもしろかったー！



たくさん歩いて疲れたけれど、それ以上に楽しかった！

**西山光知子さん**  
(旧姓水原)  
昭和58年卒  
来場回数  
1回

# アイルランド産水産物の日本向けプロモーション

河合一輝さん(平成15年卒)



神奈川県横浜にて水産物の卸売会社を経営しています。特に牡蠣に強みを持ち、年間約三〇〇万個の牡蠣を扱っています。北海道から九州産まで日本国内産の牡蠣はもちろん、海外産も、アイルランド産、カナダ産、オーストラリア産などの牡蠣を輸入しています。生食用牡蠣の衛生基準が厳しい日本において、現在、日本に輸入されているヨーロッパ産牡蠣は、当社がマーケットシェアを一〇〇%占めています。またオマール海老や蟹などの水産物をアイルランドから輸入しています。そのご縁もあり、アイルランド大使館からお声掛け頂き、大阪万博でのプロモーションをさせて頂きました。

岐阜高校での生活が、今のお仕事や万博につながっていると思えたことがありますか？  
 校訓である『百折不撓』は常に人生の指針となっています。大学卒業後、総合商社、コンサルティングファームに勤務した後、起業しました。海外にも渡り、会社を立ち上げました。しかし、現在の事業が軌道に乗るまで、約一〇年要しました。それまでは、旅行会社、菓子のeコマース、地方特産品の見本市の事業を行いました。鳴かず飛ばずでした。そんな状況でも、『百折不撓』の精神で様々な事業に挑戦し続け、漸く現在の水産物の卸売業を軌道に乗せることが出来ました。

今回の万博とどのように関わったか教えてください。

アイルランドパピリオンにて、アイルランド産水産物のメディア向けイベントを行いました。アイルランドからマーティン・ヘイドン農林水産大臣とジム・オトゥール食糧庁長官が来日され、一緒にプロモーションを行いました。当日は、アイリッシュユイスキーのイーガンズの生産者も来日されて、アイルランド産牡蠣とアイルランド産ウイスキーのマリアージュを紹介しました。

万博に関わったきっかけは？

仕事関連で万博に関与しました。現在、

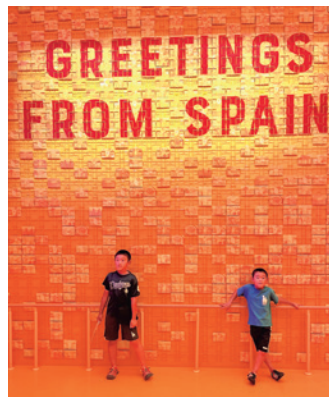


福原裕子さん  
 (旧姓伊藤)

平成15年卒

来場回数  
 1回

家族四人で行きました！行ったことがない国の文化を感じられました。夏休みで混んでいて、久しぶりに長男(二〇歳)と手が繋がったのも嬉しかったです。



匿名希望さん

平成15年卒

来場回数  
 2回



二五年後の私の姿はどうなっているのかとドキドキしながら大阪ヘルスパピリオンでリポート体験しました。





万博に関わって学んだことや、得た経験は何ですか？

『有縁千里来相会、无缘对面不相逢』という中国の諺があります。縁があればどこほど遠く離れていても出会えることができ、縁がなければ目の前にも出会えないという意味です。

それまでアイルランドに行ったことすらありませんでしたが、海外の展示会で知ったアイルランド産水産物の輸入を開始しました。そこから、昨年は来日したアイルランドのミホル・マーティン総理大臣との面談や、アイルランドの産地訪問が実現しました。『縁(えん)』の大切さを感じています。これからも様々な縁を大切にしていきたいと思えます。



壮麗な建築が立ち並び光景は圧巻でした。インターネットで多様な情報を得られる現在ですが、実際に目にして、耳にして、触れることの喜びを再認識しました。未来に思いを馳せる貴重な機会にもなりました。いつかポランティアとして参加したいです。



**洞口静さん**  
平成15年卒  
来場回数 1回

大屋根リング、木材の可能性に期待できました。何とかそれぞれ1時間半以上並んでフランス館、アメリカ館家族で観られて良かったです。



**原 彰良さん**  
昭和58年卒  
来場回数 1回

子供達が準備や予約をしてくれて、考えていた以上にスムーズに楽しく見学出来ました。いつのまにか、そんな世代に！



**森屋和喜さん**  
昭和58年卒  
来場回数 1回

多くの国が、木構造、木質建材を駆使しながら、サステナブルな建築、バイオリックスなデザインを織り込んだ最先端技術を採用していたのが面白かった。仮設建築であり、建築費の高騰による建築の実施が迷走したり、開催後の再利用の仕方に色々と突っ込みどころはあったが、技術の経験、蓄積にはなったと思う。

**一郎さん**  
平成5年卒  
来場回数 1回 (万博開催前)



死ぬほど暑かった。死ぬほど人が多かった。パビリオンは全然入れなかった。

**神谷 尚さん**  
平成15年卒  
来場回数 1回

夏休みに小5の次女と。わりと急に決めたのでパビリオンの予約は全滅。入場までの列に驚いたけど、日傘レンタルは男性や外国の方に良いサービス！大屋根リングの下は涼しくて、待ち時間の少ないパビリオンにいくつか入れて満足。せっかくの万博なのに、飲食は九十九うどんとスパイファミリー。



**匿名希望さん**  
平成5年卒  
来場回数 1回



イタリア政府代表のマリオさん(現大使)に案内してもらいました。日本初公開の展示や適替わりでイタリア全州の展示(訪問時はエミリア・ロマーニャ州など、来場者を飽きさせない工夫がすごく良かった)。



**金森紀仁さん**  
平成5年卒  
来場回数 1回

# 大阪・関西万博担当記者として感じたこと

尾藤貴裕さん(平成27年卒)



今回の万博とどのように関わったか教えてください。

二〇二〇年から二〇二五年の開幕に至るまで万博担当の報道記者として、万博に関わってきました。公式キャラクターがミャクミャクだと発表された会見や、こんなパビリオンができるらしい、という明るく楽しいニュースから、大屋根リングの建設費増額や会場運営費の増額などの負担増について、厳しい視点のニュースまで幅広く報道しました。私は二〇二〇年から二〇二三年の夏までは、大阪の行政担当として主に大阪府市を取材し、二〇二三年からは拠点を東京支社に移し、万博の実施主体である経済産業省や、万博担当大臣の取材を行いました。万博担当大臣の毎週行わ

れる閣議後会見(定例は火曜・金曜)には毎回参加し、万博に関する質問を地元局として投げかけ続けました。会場の夢洲が更地だった時から、ヘルメットを被り「ここが会場の予定地です」とリポートを行っていたので、開幕日に全国ネットのお昼のニュース番組で夢洲の大屋根リング下から「今日から万博が始まっています」と中継を行った際には、大変感慨深いものがありました。

万博に関わったきっかけは？

最初の配属が報道記者で、入社二年目のタイミングで万博の開催地である大阪府市

の行政担当に配属されたことが万博と接点を持ったきっかけです。一年目は、事件・事故や裁判などのニュースを追いかけている、事件記者でしたが、行政担当に配属されたことをきっかけに「政治・万博担当記者」へとキャリアチェンジしていきました。万博関連の取材現場については、博覧会協会や行政・政府主催の発表や、会場建設の工事業者、参加予定国の大使館等多岐にわたりました。取材した内容は原稿化し、お昼や夕方、夜のニュースで放送し地元放送エリアの関西や時には全国ネットで視聴者に伝えました。



宮城 穂さん  
平成15年卒

来場回数  
3回

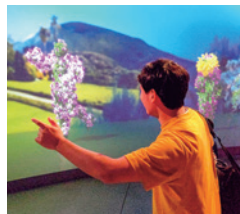


会社からチケットをもらい、計三回訪れました。厳しい暑さの中での散策は体力的には大変でしたが、展示の裏側にある作り手の想いに触れ、深い感銘を受けました。「また行きたい」と心から思える、素敵な万博でした。

清水敬輔さん  
平成5年卒

来場回数  
8回

フィリピン館の、人の動きに合わせて植物が踊る展示を大学生の息子が気に入って、モニターの前で長い時間踊っていました。



岐阜高校での生活が、今のお仕事や万博につながっていると思えたことがありますか？

岐阜高校での生活が万博での仕事で活かされた点は大きく2点あります。1点目は語学力です。高校時代、私は正直定期テストは赤点ばかりでしたが、元々得意だったこともあり英語の勉強には力を入れていました。万博の取材では、海外の大使館で、英語で行われる会見や、英語で海外のパビリオン責任者にインタビューをする機会などがあり、高校時代に注力していた勉強が仕事で活かされたと思えました。特にイスラエルやパレスチナ、ウクライナなど紛争当事者の政府代表に国際問題に関する機微な内容について英語でインタビューを行えたことは、とてもいい経験になりました。もう1点は硬式野球部での部活動を通じて培った「百折不撓」の精神です。万博の特に後ろ向きな内容についての取材、例えば費用増や元々の計画が実現できない等は、なかなか簡単に情報を手に入れることはできません。しかし、高校時代に培った粘り強さを思い出し、様々な関係者にアプローチ。時には一日二万歩以上、夢洲の会場で当事者を探して歩き回ることもありました。その中で出会った人がきっかけとなり現在も解決していないパビリオン建設費の未払い問題をスワープすることに繋がりました。

万博に関わって学んだことや、得た経験は何ですか？

万博を通じて学んだことは、世界中の国やバックグラウンドを持つ人が一堂に会する場の重要性です。一九七〇年、日本で初めての万国博覧会が行われた際はまだ、世界の様子を知る術が限られており、見本市としての性格も強かったと思います。ただ、二〇〇五年の愛・地球博、二〇二五年の大



阪・関西万博と時代が進むにつれて、インターネットで簡単に世界と繋がれる、海外の情報もすぐに調べることができるようになり、万博不要論が開催前は高まっていた印象も持っています。しかし、私は開催前々開催期間中を通して取材した中で、リアルな会場・夢洲に世界の人々が集まることによるメリットは大きいなと感じました。物理的な距離がなくなっているのに、参加国同士の政府代表が交流するシーンや、日本企業とマッチングする機会、社会課題について共に考えるシーン等、多くの国が集まっているからこそ実現できているシーンを多く目にしてきました。世界情勢は近年急速に悪化していると感じていますが、こうした万博のようなイベントが定期的にあり、国々がフェイストゥフェイスで会話できる距離感に集まることはこれまで以上に重要なのではないかと思っています。

西垣香奈子さん  
平成15年卒

来場回数  
4回



飽きることなく行く度に新しい発見があり、家族でとても楽しめました！子供も海外の国の文化や言語に興味を持つきっかけになりました。帰るのも楽しめるのは万博ならではと感じました。

杉野勇太さん  
平成15年卒

来場回数  
2回



大学時代の友人がパビリオンの建築デザイナードに抜擢されたので、当時の仲間たちと一緒に訪れました。

二〇年前と比べそれぞれ丸くなりましたが、こうやって集まって活躍を祝えるのは嬉しいことだと思っています。

杉山千世さん  
旧姓古川  
平成5年卒

来場回数  
8回

一〇年間中国語の勉強をしていたので、中国パビリオンの中国語ツアーに参加しました。半分くらいしか理解できなかったけど、聞き取れたときはうれしかったし、ますます勉強してレベルアップしたいと思いました。

